

WHO ファクトシート

ギラン・バレー症候群

Guillain- Barré syndrome

2016 年 10 月

重要な事実

- ・ギラン・バレー症候群 (GBS) は、自己の免疫システムが末梢神経系を攻撃する稀な状態である。
- ・全ての年齢層で罹患する可能性があるが、成人男性がより罹りやすい。
- ・ギラン・バレー症候群での最も重篤な症例でも、大半の患者は完全に回復する。
- ・ギラン・バレー症候群の重篤な症例は稀であるが、全身麻痺に近い状況を起こすことがある。
- ・ギラン・バレー症候群は命を脅かす可能性がある。ギラン・バレー症候群の患者には、治療と監視が必要であり、中には集中治療が必要な場合もある。治療には、支持療法といくつかの免疫学的治療がある。
- ・ギラン・バレー症候群の患者には、治療と監視が必要であり、中には集中治療が必要な場合もある。治療には、支持療法といくつかの免疫学的治療がある。

本件ファクトシートについては厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)でも全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Guillain- Barré syndrome

ファクトシート原文は[こちら](#)